

安全



安心

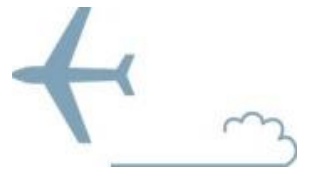
JAL不当解雇撤回ニュース

No455号 2015.07.18
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekai.co>

8.10 明日への誓い

誰のための安全なのか 何のための解雇なのか

御巢鷹山事故 1985年8月12日 あの夏から 30年目のシンポジウム



連続事故と 123 便事故

1985年8月12日。羽田空港を離陸し伊丹空港へ向かったボーイング747型ジャンボ機が群馬県の御巢鷹の尾根に墜落しました。520人もの犠牲者を出し、単独機では史上最悪の事故となりました。

この事故に至るまでの間、日本航空では、1972年のニューデリー事故、ボンベイ事故、モスクワ事故、アンカレッジ事故、クアラルンプール事故、羽田沖事故など多くの事故を起こしてきました。

「4つの誓い」

日本航空は、この123便事故を契機に、国民に対して4つの誓い、「1.絶対安全の確立、2.現場第一主義、3.公正明かな人事、4.労使関係の安定・融和」を掲げました。その後、日本航空はこの誓いを忘れ、放漫経営

を続け2010年1月に経営破たんとなり、客室乗務員とパイロットをあわせて165人を解雇しました。

失われた絶対安全

労働組合つぶしのために必要のない解雇を行い、そして「利益なくして安全なし」という経営方針になってしまいました。

破綻から5年後の今、職場の疲弊は極限に達し、250人ものパイロットの流出や毎年600人に及ぶ客室乗務員の自主退職が現れています。

明日への誓い

御巢鷹山事故から30年、4つの誓いはどうなったのか、シンポジウム「8.10明日への誓い」で討論・検証します。

お忙しい時期ではありますが、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

JAL不当解雇撤回シンポジウム
8.10 明日への誓い
誰のための安全なのか。何のための解雇なのか。
JAL 123 便事故を忘れない。不当な解雇にも負けない。
2015年8月10日【月】 開始 18:30 終了 20:30
● 日本教育会館 ● 新崎盛吾さん 安田浩一さん
内田妙子さん 飯田祐三さん
参加無料!

日時:8月10日(月)18時開場 場所:日本教育会館 神保町駅徒歩5分
主催:JAL不当解雇撤回国民共闘